

支援事例

商工会名	和水町 商工会	氏名	甲斐武史	情報開示の可否	可
支援テーマ	創業	題名	生まれ育った町でコーヒーと仏蘭西菓子がメインのカフェを夫婦でオープン！		
	販路拡大・販路支援				

<支援企業の概要>

事業所名	753cafe&patisserie	従業員	1人	創業/ 会社設立	創業日	2024年8月16日
業種	飲食業	うち家族従業員	1人		業歴	0年7ヶ月

○企業概要

2019年に生まれ育った和水町に家族4人（夫婦・子供2名）で移住し、生活拠点も移した。日々生活していく中で、夫婦2人のキャリア（フランス人の夫はホテル業界で接客等のホテルマン。事業主パティシエ）を生かした仕事が出来ないかと考え、和水町道の駅菊水ロマン館内にカフェを開業した。挽きたてのコーヒーに加えて和水町の農産物を活用したフランス菓子やスイーツを販売することにより、多くの方々に和水町を知ってほしいと思っている。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

【支援課題・支援計画】

（支援課題）事業計画を進めるために今年から創設された「和水町創業補助金」の活用が必要

（短期計画）補助金を活用した開業に係る売上拡大・販路開拓の実施

（中長期計画）パートを和水町から2名雇用し、色んなイベントや祭りにも出店して売上・知名度を拡大。

（現状分析）・強み→事業主がパティシエとして20年の経験。夫も長年ホテルマンでフランス人と日本人の味の好みを熟知している。

・弱み→経営を全くしたことがないので、知識はネットから調べた断片的な情報のつなぎ合わせであるため間違いや誤解が多い。

・機会→和水町にカフェは2件しかなく不定休。道の駅菊水ロマン館敷地にあるので道の駅利用者は必ず目に付く。

・脅威→近隣にはカフェがないが、安価なコーヒーやスイーツを扱うコンビニ、スーパーが4件ある。

○支援内容および支援後の状況・効果

・断片的な情報を整理し、きちんとした知識にするため県連主催の創業スクールの受講を勧め全回参加。

→専門家からの話自体聞いたことがなかったことから、知識の取得だけでなく経営者としての意識付けができた。

・和水町創業補助金の事業計画書策定支援の実施

→菊水ロマン館内敷地入居希望説明会で町担当課へプレゼンした資料を基にもう1度夫婦と面談を行い、公庫の創業計画書とほぼ同じ様式である事業計画書を売上や経費の詳細や町補助金の補助対象経費積算の部分を主として3回の相談、複数回メールとLINEのやり取りで完成。7月22日付で町創業補助金の採択を受けることが出来た。

○今後について（目標や課題など）

持続化補助金（創業枠）の申請を行い、広告宣伝や店舗外敷地を活用したイトイン事業を進めていきたい。

また、知識が0の税務については今後商工会にて専門家派遣と決算、記帳指導を予定している。